

議案第35号

平成31年度

入間市下水道事業会計予算



## 平成31年度入間市下水道事業会計予算

(総則)

第1条 平成31年度入間市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 水洗化戸数	56,260戸
(2) 年間総排水量	16,230,000m <sup>3</sup>
(3) 一日平均排水量	44,344m <sup>3</sup>
(4) 主要な建設改良事業	
管渠布設工事	46,750千円
管渠更生工事	198,088千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 下水道事業収益		2,454,581千円
第1項 営業収益		1,620,561千円
第2項 営業外収益		834,020千円
	支	出
第1款 下水道事業費用		2,325,011千円
第1項 営業費用		2,124,850千円
第2項 営業外費用		194,079千円
第3項 特別損失		1,082千円
第4項 予備費		5,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額904,953千円は当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額36,507千円、減債積立金113,049円、過年度分損益勘定留保資金503,192千円、当年度分損益勘定留保資金252,205千円で補てんするものとする。）。

	収 入	
第1款 資本的収入		286,378千円
第1項 企業債		268,400千円
第2項 国庫支出金		11,500千円
第3項 負担金等		6,477千円
第4項 寄附金		1千円
	支 出	
第1款 資本的支出		1,191,331千円
第1項 建設改良費		438,970千円
第2項 企業債償還金		752,361千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
入間市水洗便所改造資金融資 あっせん制度による資金を融 資した金融機関に対する損失 補償	契約締結の日から資金利用 者が借入資金返済完了まで	弁済されない元利及び 遅延利息の合計額

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利 率	償還の方法
公共下水道整 備事業	千円 170,000	普通貸借 又は 証券発行	3.0%以内 (ただし、利率見直 し方式で借り入れる 政府資金及び地方公 共団体金融機構資金 について、利率見直 しを行った後におい ては、当該見直し後 の利率)	借入先の融資条件に よる。ただし、企業財 政の都合により据置 期間及び償還期限を 短縮し、若しくは繰上 償還又は低利に借換 えすることができる。
流域下水道整 備事業	千円 98,400			
計	千円 268,400	/	/	/

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、500,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用及び営業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 94,425千円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業に助成するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、254,246千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第11条 たな卸資産の購入限度額は、3,815千円と定める。

平成31年2月19日提出

入間市長 田中龍夫



平成 3 1 年 度

入間市下水道事業会計予算説明書





平成31年度入間市下水道事業会計予算実施計画  
収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下 水 道			2,454,581	
事業収益	1 営 業 収 益		1,620,561	
		1 下 水 道 使 用 料	1,474,152	
		2 雨 水 処 理 負 担 金	146,359	
		3 そ の 他 の 営 業 収 益	50	
	2 営 業 外 収 益		834,020	
		1 受 取 利 息	361	
		2 他 会 計 負 担 金	99,395	
		3 他 会 計 補 助 金	254,246	
		4 国 庫 補 助 金	3,000	
		5 長 期 前 受 金 戻 入	476,000	
		6 雑 収 益	1,018	

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 下 水 道			2,325,011	
事業費用	1 営 業 費 用		2,124,850	
		1 管 渠 費	168,849	
		2 流域下水道維持管理費	519,360	
		3 普 及 促 進 費	3,668	
		4 委 員 会 費	121	
		5 業 務 費	66,974	
		6 総 係 費	35,878	
		7 減 価 償 却 費	1,320,000	
		8 資 産 減 耗 費	10,000	
	2 営 業 外 費 用		194,079	
		1 支 払 利 息	160,167	
		2 雑 支 出	1,635	
		3 消費税及び地方消費税	32,277	
	3 特 別 損 失		1,082	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	1,081	
		2 そ の 他 特 別 損 失	1	
	4 予 備 費		5,000	
		1 予 備 費	5,000	

資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			286,378	
	1 企 業 債		268,400	
		1 企 業 債	268,400	
	2 国 庫 支 出 金		11,500	
		1 国 庫 補 助 金	11,500	
	3 負 担 金 等		6,477	
		1 受 益 者 負 担 金	6,477	
	4 寄 附 金		1	
		1 寄 附 金	1	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			1,191,331	
	1 建 設 改 良 費		438,970	
		1 事 務 費	28,145	
		2 管 渠 改 良 費	300,450	
		3 流 域 下 水 道 費	98,407	
		4 固 定 資 産 購 入 費	11,968	
	2 企 業 債 償 還 金		752,361	
		1 企 業 債 償 還 金	752,361	

平成31年度入間市下水道事業会計予算実施計画説明書

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

項	目	節	予 定 額	備 考
1 営業収益			1,620,561	
	1 下水道 使用料		1,474,152	
		1 下水道 使用料	1,474,152	○下水道使用料 1,474,152
	2 雨水処理 負担金		146,359	
		1 雨水処理 負担金	146,359	○雨水処理負担金 146,359
	3 その他の 営業収益		50	
		1 手数料	50	○指定工事店指定手数料 45 ○責任技術者登録手数料 5
2 営業外 収 益			834,020	
	1 受取利息		361	
		1 預金利息	361	○大口定期預金利息 361
	2 他会計 負担金		99,395	
		1 一般会計 負担金	99,395	○一般会計負担金 99,395
	3 他会計 補助金		254,246	
		1 一般会計 補助金	254,246	○一般会計補助金 254,246
	4 国 庫 補助金		3,000	
		1 国 庫 補助金	3,000	○防災・安全交付金 3,000
	5 長期前受 金 戻 入		476,000	
		1 受贈財産 評価額長 期前受金 戻 入	254,934	○受贈財産評価額長期前受金戻入 254,934
		2 寄附金長 期前受金 戻 入	3,625	○寄附金長期前受金戻入 3,625
		3 受益者負 担金長期 前 受 金 戻 入	65,168	○受益者負担金長期前受金戻入 65,168
		4 国庫補助 金長期前 受金戻入	152,141	○国庫補助金長期前受金戻入 152,141

項	目	節	予 定 額	備 考
(2 営業外収益)	(5 長期前受金戻入)	5 県補助金 長期前受 金 戻 入	132	○県補助金長期前受金戻入 132
		6 雑 収 益	1,018	
	1 延 滞 金	1	○下水道事業受益者負担金延滞金 1	
	2 その他の 雑 収 益	1,017	○排水設備に係る書類のコピー代 12 ○行政財産目的外使用料 5 ○水洗便所改造資金融資預託金回収金 1,000	

## 支 出

(単位：千円)

項	目	節	予 定 額	備 考	
1	営業費用		2,124,850		
	1	管 渠 費	168,849		
		1	給 料	20,236	○給料 4人外2人(再任用短時間勤務職員) 20,236
		2	手 当	7,732	○扶養手当 102 ○住居手当 324 ○通勤手当 214 ○時間外勤務手当 719 ○期末手当 3,025 ○勤勉手当 2,127 ○地域手当 1,221
		3	賞与引当 金繰入額	2,577	○期末手当 1,513 ○勤勉手当 1,064
		4	賃 金	1,294	○パート職員賃金 1,294
		5	法 定 福 利 費	7,514	○職員共済組合負担金 5,172 ○職員退職手当負担金 2,289 ○公務員災害補償基金負担金 53
		6	法定福利 費引当金 繰 入 額	499	○職員共済組合負担金 499
		7	被 服 費	106	○職員貸与被服費 106
		8	備 消 品 費	330	○維持管理消耗品 150 ○検査用消耗品 94 ○事務用消耗品等 86
		9	燃 料 費	138	○自動車用燃料費 138
		10	通 信 運 搬 費	550	○マンホールポンプ電話料金 550
		11	委 託 料	37,413	○管渠調査委託料 14,861 ○管渠等清掃委託料 7,700 ○マンホールポンプ点検委託料 2,860 ○水質調査業務委託料 4,950 ○下水道地理情報システム更新等委託料 7,042
		12	修 繕 費	75,277	○管渠等修繕 75,130 ○ガス検知器修繕 86 ○自動車点検等 61
		13	動 力 費	2,483	○マンホールポンプ電気料金 2,483
		14	材 料 費	11,200	○マンホール蓋等 11,200

項	目	節	予 定 額	備 考
(1 営業費用)	(1 管渠費)	15 負 担 金 補助及び 交 付 金	1,300	○私道共同排水設備維持管理補助金 1,300
		16 保 險 料	200	○下水道施設所有者賠償責任保険 166 ○調査時賠償責任保険 14 ○自動車保険料 20
	2 流域下水 道 維 持 管 理 費		519,360	
	1 流域下水 道維持管 理負担金		519,360	○荒川右岸流域下水道維持管理負担金 519,360
	3 普 及 促 進 費		3,668	
	1 負 担 金 補助及び 交 付 金		2,660	○私道共同排水設備設置事業補助金 2,160 ○水洗便所改造資金補助金 500
	2 貸 付 金		1,000	○水洗便所改造資金融資預託金 1,000
	3 水 洗 化 利 子 補 給 金		8	○水洗便所改造資金利子補給金 8
	4 委員会費		121	
	1 報 酬		106	○上下水道審議会委員報酬 15人 106
	2 旅 費		15	○費用弁償 15
	5 業 務 費		66,974	
	1 手 数 料		66,974	○下水道使用料徴収等手数料 66,974
	6 総 係 費		35,878	
	1 給 料		13,114	○給料 4人 13,114
	2 手 当		6,690	○扶養手当 810 ○管理職手当 516 ○通勤手当 233 ○時間外勤務手当 460 ○期末手当 2,222 ○勤勉手当 1,582 ○地域手当 867
	3 賞与引当 金繰入額		1,903	○期末手当 1,112 ○勤勉手当 791
	4 法 定 福 利 費		5,881	○職員共済組合負担金 4,065 ○職員退職手当負担金 1,771 ○公務員災害補償基金負担金 42 ○年金給付に要する費用 3

項	目	節	予 定 額	備 考	
(1 営業費用)	(6 総係費)	5 法定福利 費引当金 繰入額	369	○職員共済組合負担金 369	
		6 旅 費	62	○職員旅費 62	
		7 被 服 費	17	○職員貸与被服費 17	
		8 備 消 品 費	142	○事務用消耗品 142	
		9 通 信 運 搬 費	60	○郵便料金 60	
		10 委 託 料	3,401	○固定資産算定業務委託料 2,420 ○固定資産管理システム保守業務委託料 491 ○企業会計システム保守管理業務委託料 399 ○企業会計システム入替業務委託料 91	
		11 修 繕 費	110	○OA機器等修繕 110	
		12 研 修 費	246	○研修費 246	
		13 厚 生 費	132	○人間ドック助成金 132	
		14 負 担 金 補助及び 交 付 金	2,565	○市庁舎維持管理負担金 1,007 ○市公式ホームページ運営管理費負担金 327 ○埼玉県電子入札共同システム負担金 52 ○上下水道部人事給与システム負担金 35 ○上下水道事業会計間負担金 697 ○各団体負担金 447	
		15 貸倒引当 金繰入額	1,186	○平成27年度分不納欠損処理予定額 1,186	
		7 減 価 償 却 費		1,320,000	
		1 有形固定 資産減価 償 却 費	1,177,234	○有形固定資産減価償却費 1,177,234	
		2 無形固定 資産減価 償 却 費	142,766	○無形固定資産減価償却費 142,766	
		8 資 産 減 耗 費		10,000	
1 固定資産 除 却 費	10,000	○有形固定資産除却費 10,000			
2 営業外 費 用		194,079			
1 支払利息		160,167			
1 企業債 利 息	158,937	○企業債利息 158,937			

項	目	節	予 定 額	備 考
(2 営業外費用)	(1 支払利息)	2 借入金 利 息	1,230	○借入金利息 1,230
	2 雑支出		1,635	
		1 その他 雑支出	1,635	○雑支出 1,635
	3 消費税 及び地方 消費税		32,277	
1 消費税 及び地方 消費税		32,277	○消費税及び地方消費税納付予定額 32,277	
3 特別損失			1,082	
1 過年度損 益修正損			1,081	
	1 過年度損 益修正損	1 過年度損 益修正損	1,080	○過年度分下水道使用料過誤納金還付等 1,080
		2 過年度 貸倒損失	1	○貸倒引当金取崩不足分 1
	2 その他 特別損失		1	
1 1 その他 特別損失	1 1 その他 特別損失	1	○消費税市負担分 1	
	4 予備費		5,000	
1 予備費			5,000	
	1 予備費	5,000	○予備費 5,000	



資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

項 目	目 節	予 定 額	備 考
1 企業債		268,400	
	1 企業債	268,400	
	1 企業債	268,400	○公共下水道整備事業債 170,000 ○流域下水道整備事業債 98,400
2 国庫 支出金		11,500	
	1 国庫 補助金	11,500	
	1 国庫 補助金	11,500	○防災・安全交付金 11,500
3 負担金等		6,477	
	1 受益者 負担金	6,477	
	1 受益者 負担金	6,477	○下水道事業受益者負担金 6,477
4 寄附金		1	
	1 寄附金	1	
	1 寄附金	1	○公共下水道区域外流入寄附金 1

## 支 出

(単位：千円)

項	目	節	予 定 額	備 考
1 建設			438,970	
改良費	1 事務費		28,145	
		1 給 料	12,405	○給料 4人 12,405
		2 手 当	8,253	○扶養手当 378 ○管理職手当 636 ○住居手当 324 ○通勤手当 292 ○時間外勤務手当 819 ○期末手当 2,920 ○勤勉手当 2,078 ○地域手当 806
		3 法 定 福 利 費	5,852	○職員共済組合負担金 4,143 ○職員退職手当負担金 1,675 ○公務員災害補償基金負担金 34
		4 報 償 費	1,216	○受益者負担金前納報奨金 1,216
		5 被 服 費	104	○職員貸与被服費 104
		6 備 消 品 費	168	○事務用消耗品等 109 ○現場用消耗品 59
		7 燃 料 費	64	○自動車用燃料費 64
		8 修 繕 費	66	○自動車点検等 66
		9 保 險 料	17	○自動車保険料 17
	2 管 渠 改 良 費		300,450	
		1 工 事 請 負 費	256,670	○管渠布設工事 46,750 ○管渠更生工事 198,088 ○取付管設置工事 5,232 ○舗装本復旧工事 6,600
		2 委 託 料	41,580	○管路施設耐震診断調査業務委託料 15,400 ○管路施設耐震化詳細設計業務委託料 19,250 ○荒川右岸流域関連入間公共下水道事業計画 変更図書等策定業務委託料 4,730 ○調査等委託料 2,200
		3 補 償 金	2,200	○支障物件移設補償料 2,200
	3 流 域 下 水 道 費		98,407	
		1 流 域 下 水 道 事 業 費 負 担 金	98,407	○荒川右岸流域下水道建設負担金 98,407

項	目	節	予 定 額	備 考
(1 建設改良費)	4 固定資産		11,968	
	購入費	1 工具器具 備 品 購 入 費	11,968	○下水道地理情報システム一式購入費 9,966 ○事務用パソコン購入費 2,002
2 企業債 償還金			752,361	
	1 企業債		752,361	
	償還金	1 償還元金	752,361	○企業債償還元金 752,361



平成31年度 入間市下水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書  
 (平成31年4月1日から平成32年(2020年)3月31日まで)

(単位：千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	94,382
減価償却費	1,320,000
固定資産除却費	10,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 123
長期前受金戻入額	△ 476,000
受取利息	△ 361
支払利息	160,167
未収金の増減額(△は増加)	△ 2,759
未払金の増減額(△は減少)	△ 4,035
小計	1,101,271
利息の受取額	361
利息の支払額	△ 160,167
業務活動によるキャッシュ・フロー	941,465
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△ 402,463
国庫補助金等による収入	11,500
受益者負担金等による収入	6,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 384,485
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債	268,400
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 752,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 483,961
資金増加額(又は減少額)	73,019
資金期首残高	597,069
資金期末残高	670,088

給 与 費 明 細 書

1 総 括

区 分	職 員 数		給 与 費					法 定 福 利 費 (千円)	合 計 (千円)	
	特 別 職 (人)	一 般 職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	賃 金 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)			
本 年 度	損益勘定 支弁職員	15	(2) 8	106	33,350	1,294	18,902	53,652	14,263	67,915
	資本勘定 支弁職員	0	(0) 4	0	12,405	0	8,253	20,658	5,852	26,510
	合 計	15	(2) 12	106	45,755	1,294	27,155	74,310	20,115	94,425
前 年 度	損益勘定 支弁職員	15	(2) 8	106	32,203	1,260	18,298	51,867	13,932	65,799
	資本勘定 支弁職員	0	(0) 3	0	10,115	0	6,767	16,882	4,956	21,838
	合 計	15	(2) 11	106	42,318	1,260	25,065	68,749	18,888	87,637
比 較	損益勘定 支弁職員	0	(0) 0	0	1,147	34	604	1,785	331	2,116
	資本勘定 支弁職員	0	(0) 1	0	2,290	0	1,486	3,776	896	4,672
	合 計	0	(0) 1	0	3,437	34	2,090	5,561	1,227	6,788

\* ( ) 内の職員数は短時間勤務職員を表す

手 当 の 内 訳	区 分	扶 養 手 当 (千円)	管 理 職 手 当 (千円)	地 域 手 当 (千円)	住 居 手 当 (千円)	通 勤 手 当 (千円)	特 殊 勤 務 手 当 (千円)	時 間 外 勤 務 手 当 (千円)	期 末 手 当 (千円)	勤 勉 手 当 (千円)
	本 年 度		1,290	1,152	2,894	648	739	0	1,998	10,792
前 年 度		1,014	1,152	2,670	744	686	0	1,741	10,106	6,952
比 較		276	0	224	△ 96	53	0	257	686	690

2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増減額 (千円)	増減事由別内訳 (千円)	説 明	備 考	
給 料	3,437	給与改定に伴う増減分	105	前年度給与改定に伴う増加分	給料改定率 0.22%
		昇給に伴う増加分	539		平均昇給率 1.26% 昇給期 1月 実質昇給人数 9人
		その他の増減分	2,793	職員構成の変動等による増	
手 当	2,090	制度改正に伴う増減分	159	扶養手当 24 地域手当 9 住居手当 △ 144 時間外勤務手当 6 期末手当 30 勤勉手当 234	配偶者・子等の支給月額改定 給料及び扶養手当改定に伴うはね返り 職員所有に係る住宅に対する手当廃止 給料改定に伴うはね返り 給料及び扶養手当改定に伴うはね返り 年間+0.05月分改定 1.80月分→1.85月分
		その他の増減分	1,931	扶養手当 252 地域手当 215 住居手当 48 通勤手当 53 時間外勤務手当 251 期末手当 656 勤勉手当 456	

### 3 給料及び手当の状況

#### (1) 職員1人当たり給与

区 分		企 業 職
31年1月1日現在	平均給料月額（円）	304,400
	平均給与月額（円）	348,941
	平均年齢（歳）	38.5
30年1月1日現在	平均給料月額（円）	294,709
	平均給与月額（円）	342,436
	平均年齢（歳）	37.4

#### (2) 初任給

区 分	企 業 職（円）	一 般 会 計 の 制 度	
		行 政 職（円）	技能労務職（円）
高 校 卒	158,300	158,300	167,400
大 学 卒	187,200	187,200	



## (3) 級別職員数

区 分	企 業 職			区 分	企 業 職		
	級	職員数(人)	構成比(%)		級	職員数(人)	構成比(%)
31年1月1日現在	1 級	(0)	(-)	30年1月1日現在	1 級	(0)	(-)
		2	18.1			3	27.2
	2 級	(0)	(-)		2 級	(0)	(-)
		3	27.3			2	18.2
	3 級	(2)	(100.0)		3 級	(2)	(100.0)
		1	9.1			2	18.2
	4 級	(0)	(-)		4 級	(0)	(-)
		0	0.0			0	0.0
	5 級	(0)	(-)		5 級	(0)	(-)
		3	27.3			2	18.2
6 級	(0)	(-)	6 級	(0)	(-)		
	1	9.1		1	9.1		
7 級	(0)	(-)	7 級	(0)	(-)		
	1	9.1		1	9.1		
8 級	(0)	(-)	8 級	(0)	(-)		
	0	0.0		0	0.0		
9 級	(0)	(-)	9 級	(0)	(-)		
	0	0.0		0	0.0		
計	(2)	(100.0)	計	(2)	(100.0)		
	11	100.0		11	100.0		

\* ( ) 内の職員数及び構成比は短時間勤務職員を表す

## (級別の標準的な職務内容)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級
企 業 職	主事補、技師補の職務又はこれに相当する職務	主事、技師の職務又はこれに相当する職務	主任の職務又はこれに相当する職務	主査の職務又はこれに相当する職務	副主幹の職務又はこれに相当する職務	主幹の職務又はこれに相当する職務	課長の職務又はこれに相当する職務	次長の職務又はこれに相当する職務	部長の職務又はこれに相当する職務

## (4) 昇給

区 分		企 業 職		
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	12		
	昇給に係る職員数 (B) (人)	12		
	号給数別内訳	1号給 (人)	0	
		2号給 (人)	1	
		3号給 (人)	1	
		4号給 (人)	10	
		5号給 (人)	0	
		6号給 (人)	0	
		7号給 (人)	0	
		8号給 (人)	0	
9号給 (人)	0			
比 率 (B) / (A) (%)	100.0			
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	11		
	昇給に係る職員数 (B) (人)	11		
	号給数別内訳	1号給 (人)	0	
		2号給 (人)	2	
		3号給 (人)	0	
		4号給 (人)	9	
		5号給 (人)	0	
		6号給 (人)	0	
		7号給 (人)	0	
		8号給 (人)	0	
9号給 (人)	0			
比 率 (B) / (A) (%)	100.0			

## (5) 期末・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支 給 率 計 (月 分)	職制上の段階、 職務の級等による加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	(1.175)	(1.175)	(2.350)	有	
	2.225	2.225	4.450		
前 年 度	(1.075)	(1.225)	(2.300)	有	
	2.125	2.275	4.400		
一般会計の制度	(1.175)	(1.175)	(2.350)	有	
	2.225	2.225	4.450		

\* ( ) 内は再任用職員の支給率を表す

## (6) 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者(月分)	25年勤続の者(月分)	35年勤続の者(月分)	最 高 限 度(月分)	その他の加算措置等	備 考
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)	
一般会計の制度(支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)	

## (7) 地域手当

支給対象地域	支給率(%)	支給対象職員数(人)	一般会計の制度(支給率)(%)
市内全域	6	12	6

## (8) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同 じ	——
住 居 手 当	同 じ	——
通 勤 手 当	同 じ	——

債務負担行為に

事 項	限 度 額	前年度末までの支払義務発生（見込）額	
		期 間	金 額
入間市水洗便所改造資金融資あっせん制度による資金を融資した金融機関に対する損失補償 （平成30年度）	千円 弁済されない元利及び遅延利息の合計額		千円
入間市水洗便所改造資金融資あっせん制度による資金を融資した金融機関に対する損失補償 （平成31年度）	弁済されない元利及び遅延利息の合計額		

関 する 調 書

当該年度以降の支払義務発生予定額		左の財源内訳		備 考
期 間	金 額	下水道事業収益		
契約締結の日から資金利用者が借入資金返済完了まで	千円 限度額に同じ	千円 限度額に同じ		
契約締結の日から資金利用者が借入資金返済完了まで	限度額に同じ	限度額に同じ		



平成30年度入間市下水道事業予定損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

1	営業収益			
	(1)下水道使用料	1,350,917		
	(2)雨水処理負担金	131,843		
	(3)その他の営業収益	688	1,483,448	
		<u>          </u>		
2	営業費用			
	(1)管渠費	105,465		
	(2)流域下水道維持管理費	476,445		
	(3)普及促進費	5,008		
	(4)委員会費	120		
	(5)業務費	59,602		
	(6)総係費	35,789		
	(7)減価償却費	1,320,000		
	(8)資産減耗費	10,000	2,012,429	
		<u>          </u>	<u>          </u>	
	営業損失			528,981
3	営業外収益			
	(1)受取利息	399		
	(2)他会計負担金	99,978		
	(3)他会計補助金	258,179		
	(4)長期前受金戻入	475,000		
	(5)雑収益	1,023	834,579	
		<u>          </u>		
4	営業外費用			
	(1)支払利息	180,664		
	(2)雑支出	6,684	187,348	647,231
		<u>          </u>	<u>          </u>	<u>          </u>
	経常利益			118,250
5	特別損失			
	(1)過年度損益修正損	201	201	△ 201
		<u>          </u>	<u>          </u>	
6	予備費			
	(1)予備費	5,000	5,000	△ 5,000
		<u>          </u>	<u>          </u>	<u>          </u>
	当年度純利益			113,049
	その他未処分利益剰余金変動額			149,389
	当年度未処分利益剰余金			<u>262,438</u>

平成30年度入間市下水道事業予定貸借対照表  
(平成31年3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ 土 地		56,620	
ロ 構 築 物	34,821,322		
減価償却累計額	<u>△ 4,565,095</u>	30,256,227	
ハ 機 械 及 び 装 置	127,772		
減価償却累計額	<u>△ 49,116</u>	78,656	
ニ 車 両 運 搬 具	1,124		
減価償却累計額	<u>△ 39</u>	1,085	
ホ 工 具 器 具 及 び 備 品	60		
減価償却累計額	<u>△ 57</u>	3	
ヘ 建 設 仮 勘 定		117,697	
有形固定資産合計			30,510,288
(2) 無形固定資産			
イ 施 設 利 用 権		1,997,966	
無形固定資産合計			1,997,966
(3) 投 資			
イ 出 資 金		1,115	
投資合計			1,115
固定資産合計			<u>32,509,369</u>

2 流動資産

(1) 現金預金		597,069	
(2) 未収金	140,519		
貸倒引当金	<u>△ 1,309</u>	139,210	
(3) 貯蔵品		1,282	
流動資産合計			737,561
資産合計			<u><u>33,246,930</u></u>



負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		6,253,691	
固定負債合計			6,253,691
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		752,361	
(2) 未払金		120,515	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金		6,147	
ロ 法定福利費引当金		1,191	
(4) 預り金		1,325	
流動負債合計			881,539
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		14,148,732	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 1,848,705	
繰延収益合計			12,300,027
負債合計			19,435,257

資本の部

6 資本金			
(1) 自己資本金		13,523,340	
資本金合計			13,523,340
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額		25,895	
資本剰余金合計			25,895
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金		262,438	
利益剰余金合計			262,438
剰余金合計			288,333
資本合計			13,811,673
負債資本合計			33,246,930

# 平成30年度 入間市下水道事業注記表

## I. 重要な会計方針

地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

### 1. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

◆ 減価償却の方法	定額法
◆ 主な耐用年数	
構 築 物	50年
機 械 及 び 装 置	10～20年
車 両 運 搬 具	4年
工 具 器 具 及 び 備 品	5年

#### (2) 無形固定資産

◆ 減価償却の方法	定額法
◆ 主な耐用年数	
施 設 利 用 権	35年

### 2. たな卸資産

◆ 種 類	材料
◆ 評 価 基 準	原価法
◆ 評 価 方 法	先入先出法

### 3. 引当金の計上方法

#### (1) 退職給付引当金

埼玉県市町村総合事務組合に加入し、退職手当負担金を負担しているため、退職給付引当金は計上していない。

#### (2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、不納欠損実績率により回収不能見込額を計上している。

4. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

平成30年度において、職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、前年度の負担に属する額として計上していた賞与引当金5,495千円の取り崩しを行う。

(2) 法定福利費引当金

平成30年度において、職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、前年度の負担に属する額として計上していた法定福利費引当金1,052千円の取り崩しを行う。

(3) 貸倒引当金

平成30年度において、債権の不納欠損による損失に充てるため、前年度に回収不能見込額として計上していた貸倒引当金1,397千円の取り崩しを行う。

5. 企業債の表示区分

企業債については、貸借対照日の翌日から起算して1年以内に返済期限が到来するものを流動負債に分類し、1年を超えて返済期限が到来するものを固定負債に分類し計上している。

6. 当年度末処分利益剰余金

当年度末処分利益剰余金262,438千円の内訳は、当年度純利益が113,049千円であり、減債積立金を使用して企業債を償還する額が149,389千円である。

## 7. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

## II. 平成30年度予定貸借対照表に関する注記

### 1. 企業債の償還に係る他会計の負担

企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は552,846千円である。

## III. 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

### 表示方法

キャッシュ・フロー計算書は、間接法により表示している。

## IV. セグメント情報

当事業は、単一セグメントによって事業を運営しているため、セグメント情報はなし。



平成31年度入間市下水道事業予定貸借対照表

(平成32年(2020年)3月31日)

(単位:千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

イ 土 地 56,620

ロ 構 築 物 35,194,100

減 価 償 却 累 計 額  $\Delta$  5,731,410 29,462,690

ハ 機 械 及 び 装 置 127,772

減 価 償 却 累 計 額  $\Delta$  58,791 68,981

ニ 車 両 運 搬 具 1,124

減 価 償 却 累 計 額  $\Delta$  283 841

ホ 工 具 器 具 及 び 備 品 10,940

減 価 償 却 累 計 額  $\Delta$  57 10,883

ヘ 建 設 仮 勘 定 135,212

有 形 固 定 資 産 合 計 29,735,227

(2) 無 形 固 定 資 産

イ 施 設 利 用 権 1,945,490

無 形 固 定 資 産 合 計 1,945,490

(3) 投 資

イ 出 資 金 1,115

投 資 合 計 1,115

固 定 資 産 合 計 31,681,832

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金 670,088

(2) 未 収 金 143,278

貸 倒 引 当 金  $\Delta$  1,186 142,092

(3) 貯 蔵 品 1,282

流 動 資 産 合 計 813,462

資 産 合 計 32,495,294

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		5,792,631	
固定負債合計			5,792,631
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		729,460	
(2) 未払金		116,480	
(3) 引当金			
イ 賞与引当金		6,147	
ロ 法定福利費引当金		1,191	
(4) 預り金		1,325	
流動負債合計			854,603
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		14,266,710	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 2,324,705	
繰延収益合計			11,942,005
負債合計			18,589,239

資本の部

6 資本金			
(1) 自己資本金		13,672,729	
資本金合計			13,672,729
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	25,895		
資本剰余金合計		25,895	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	207,431		
利益剰余金合計		207,431	
剰余金合計			233,326
資本合計			13,906,055
負債資本合計			32,495,294

# 平成31年度 入間市下水道事業注記表

## I. 重要な会計方針

地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

### 1. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産

◆ 減価償却の方法	定額法
◆ 主な耐用年数	
構 築 物	50年
機 械 及 び 装 置	10～20年
車 両 運 搬 具	4年
工具器具及び備品	5年

#### (2) 無形固定資産

◆ 減価償却の方法	定額法
◆ 主な耐用年数	
施 設 利 用 権	35年

### 2. たな卸資産

◆ 種 類	材料
◆ 評 価 基 準	原価法
◆ 評 価 方 法	先入先出法

### 3. 引当金の計上方法

#### (1) 退職給付引当金

埼玉県市町村総合事務組合に加入し、退職手当負担金を負担しているため、退職給付引当金は計上していない。

#### (2) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。



(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、不納欠損実績率により回収不能見込額を計上している。

4. 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金

平成31年度において、職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、前年度の負担に属する額として計上していた賞与引当金6,147千円の取り崩しを行う。

(2) 法定福利費引当金

平成31年度において、職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、前年度の負担に属する額として計上していた法定福利費引当金1,191千円の取り崩しを行う。

(3) 貸倒引当金

平成31年度において、債権の不納欠損による損失に充てるため、前年度に回収不能見込額として計上していた貸倒引当金1,309千円の取り崩しを行う。

5. 企業債の表示区分

企業債については、貸借対照日の翌日から起算して1年以内に返済期限が到来するものを流動負債に分類し、1年を超えて返済期限が到来するものを固定負債に分類し計上している。

6. 当年度未処分利益剰余金

当年度未処分利益剰余金207,431千円の内訳は、当年度純利益が94,382千円であり、減債積立金を使用して企業債を償還する額が113,049千円である。

## 7. 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

## II. 平成31年度予定貸借対照表に関する注記

### 1. 企業債の償還に係る他会計の負担

企業債（当該事業年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む）のうち、一般会計が負担すると見込まれる額は490,927千円である。

## III. 予定キャッシュ・フロー計算書等関連

### 表示方法

キャッシュ・フロー計算書は、間接法により表示している。

## IV. セグメント情報

当事業は、単一セグメントによって事業を運営しているため、セグメント情報はなし。